

平成25年度第1回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成25年5月29日(水)

13時40分～15時00分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

1 開 会

2 会議成立の報告（事務局）

委員26名中18名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
（協議会規約第6条第2項）

3 あいさつ

しなの鉄道活性化協議会会長

4 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

（1）しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

事務局から「資料1」を報告。

（質問・意見等なし）

（2）平成24年度しなの鉄道活性化協議会事業報告について

（3）平成24年度しなの鉄道活性化協議会決算について

事務局から「資料2」「資料3」を一括説明。

監査報告：監査委員による出納監査結果を報告。

<議 長>

軽井沢～小諸間の増便事業については、先ほどの説明にもありましたけれども、昨年度3年計画の3年目ということでございました。国庫補助金がなくなったということで、関係市町の方々に大変なご負担をいただきながらこの事業を継続できたということでございまして、我々としては誠に感謝しております。数字的にも効果が出ているということもございまして、9月に実施いたしました利用者アンケートにおいても、ぜひ継続してほしいという声が圧倒的だったという報告も受けております。私どもとしても、こういった事業がある程度地域に浸透し、より効果が出るにはある程度長い期間で検証をしていく必要があると思っております。

すので、後ほど今年の事業計画でお話をさせていただきますが、今年度も継続して実施していきたいと思います。

事業報告、決算についてはご承認をいただいたということでよろしいでしょうか。

(質問・意見等なし)

報告のとおり一括して承認。

(4) 平成25年度しなの鉄道活性化協議会事業計画(案)について

(5) 平成25年度しなの鉄道活性化協議会予算(案)について

事務局から「資料4」「資料5」を一括説明。

<議長>

軽井沢～小諸間増便の実証運行については今年も計画するということで、数字的なデータから効果があるということやアンケート結果などを踏まえ、今年も計画実施をするということで、上下7本ずつ変更はございません。関係する3市町については、大変なご負担をいただいて実施する形となっておりますが、これについては3市町の方々いかがでしょうか。

(質疑・意見等)

ア 利用されている皆さんからもいい評判しか聞こえてこないくらい重要なものですから、引き続き足並みを揃えて、接続関係や実証運行を引き続きお願いできればと思っております。

イ 小諸市さんもおっしゃっていた通り、軽井沢町としても今まで通りやっていただきたい。議会関係者からはもっと増便を掛けられないかと言われている位で、利用者から議員の方へ声が上がっているのではないかと思います。引き続きこの形で進めていただければと思っております。

ウ 御代田町としても、引き続き増便事業は実施していきたいという考え方でおります。

<議長>

アンケート結果なども踏まえて、3市町さんの大変な負担の額になるのですが、今年度も昨年と同様の形で、合わせて事業を実施するという事になっております。ただ、3年計画をやってきた上で、実証期間を踏まえた一定の検証が必要だろうと思っております。3年の総括をして来年度以降場合によっては見直しとい

うことも可能性としてはあるのではないかと思います。例えば、沿線の大変強いご要望で、軽井沢駅からの最終新幹線の接続確保を途中で追加をいたしました。が、実態は、利用者が極めて少ないです。費用対効果と単純に言うつもりはありませんが、やはり3年の実施期間を踏まえた一定の総括というものを私どもとしてはしていきたいと思っております。もちろん自治体の皆さんと一緒に総括をし、それを踏まえた新年度以降の新しい方向というものを、今年は検討していかなければいけないと問題意識としては持っておりますし、実際お願いしたいと思っております。そういうことを含めてご意見があれば、お願いします。

エ 最終新幹線の接続という状況でいきますと、一番の目玉という状況でもあり、それを見直しということになると実際のところ利用者は確かに少ないかもしれないのですが、サービスを提供し続けるということは、やはり必要なのではないかとこの風に私どもは思っております。

<議長>

当然そういうご意見はあろうかと思いますので、そういうことを含め、ぜひ一緒に協賛をしていきたいと思っておりますので、どうぞまたよろしくお願いたします。

事業計画の中でも説明にございましたけれども、今年も昨年以上に様々なことをやろうと思っております。沿線の地域の皆様との関わりが非常に大きいというものがほとんどですので、ぜひ皆さんにご理解をいただき、ご支援とご協力をお願いしたいと思います。今年、長野パルセイロが8月にホームグラウンドが改修のため佐久市で数試合行う関係で、先日パルセイロの社長さんが私どものところにいらっやいまして、ぜひ協力をお願いしたいというような要請がございました。私どもとしては、出来るだけの協力をしたいと思っております。ただ、あの場所へ行くまでに JR への乗換えや、駅から距離があるなど色々な問題がありますので、どのような形で出来るのか、出来ないのかを含め、佐久市さんや JR さんも含めて協賛をしていかなければならないのですが、佐久の問題も含め、沿線にはブレイブウォリアーズというチームもございいますので、プロスポーツチームとの連携強化も今年の一つの目玉として、具体的な形で今年は色々やっていきたいと思っております。ぜひ、そういうことで色々知恵を出していただければありがたいと思っております。

オ 大変盛りだくさんな計画の中に、特に駅周辺の活性化・地域との連携ということがありますが、私どもは今年県と国の事業の二つを軸に中心市街地の活性化事業を展開していくわけですが、「まちなかキャンパス」ということで広い通りがありますので、そこの全体をキャンパスという位置付けの中で色々な賑わいを求めたい。特に、駅から電車に乗って来てもらい、そこで何かを経験してもらおうとか、楽しんで

もらう、あるいは観光地域に行く。そういう中で今ここに出ているものは非常に素晴らしい事なのですが、具体的に手順などどのように進められるのでしょうか。例えば、(資料(4)の②に) 駅コンサートと書いてありますが、今、市も含めて一生懸命企画立案中なのです。具体的にどういう形で企画、立案、調整が出来るのか、ここら辺を教えていただきたい。

<議 長>

駅を中心として、様々なことをやろうとしておりまして、私どもの言葉で言うと、駅を「まちのステーション」という位置付けにしようと思っています。駅というものを、従来の単なるお客様の乗降場としてだけではなく、地域の駅として地域の様々な情報が得られ発信できるとか、コミュニティーの場として活用してもらう。そういう役割を通じて、駅の賑わいというものを演出して、それが乗客の増加に繋がればということでやっておりまして、その為には地域の皆さんと一緒にやっていくことが基本的なスタンスとしては非常に大事だと思います。やろうとする事業によって、どんな手法を取るか色々あろうかと思いますが、私どもとしては、今申し上げた基本的なスタンスで是非地域からも色々な知恵を出していただき、私どもも知恵を出して、双方のすり合わせで具体的な事業展開が出来ればと思っています。(資料(4)の②に) 駅のコンサートや作品展示などと書いてありますが、駅のコンサートを行うということは過去にも実績がありまして、例えば、小諸駅で小諸高校の学生がコンサートをしたことがあるのですが、現状でも、駅など人が集まる場所で、自分たちが蓄えてきたものを表現したいという申し出は常にいくつかあるのです。そういう方々と一緒になって駅で出来ることを、地元の自治体も噛んでいただいて、一緒になって考えていくということが大事なのではないかと思っています。一概にこういうことというのはなかなか無いのですが、我々としては、やろうとすることにに応じて柔軟に対応していきたいと思っています。

カ 私どもは今、1週間市民ギャラリーで「メイドイン千曲フェア」ということを始めています。しなの鉄道さんに、中心市街地の活性化の委員会にも入っていただいたり、ウェルカムステーションの事業の中のメンバーに駅長さんも入っておりますから、そういう中で話が出入りしていれば、きっかけになると思うのですが。

<議 長>

私どもは、今年から地域との連携ということの一つのキーワードに、組織的にも鉄道会社では珍しいのですが、地域連携室という組織を設けまして、専任のスタッフを配置しております。地域連携室を中心に、地域とどんな形で連携が出来るかということこれからやっていこうと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。中心市街地の活性化ということですが、私どもが沿線の市町村に常々お願いしているのが、駅というものをまちづくりの一つの核にしてほしいということです。

もちろん自治体のまちづくりというものは、色んな手法、形でやるのだと思いますが、その一つの核として、ぜひ駅をまちづくりの中心に位置付けていただき、それを起点とした色々な営業展開を考えて欲しいということを、改めてお願いしたいと思います。

キ 軽井沢町内の駅の関係の説明をさせていただきます。軽井沢町は、軽井沢駅、中軽井沢駅、信濃追分駅と、しなの鉄道3駅を持っております。その中の中軽井沢駅の隣に、この4月1日に「くつかけテラス」が併設されました。“くつかけ”というのは中軽井沢の以前の宿場町の名前が沓掛宿であったことから名付けられましたが、その中に図書館も併設されました。その図書館が思った以上に好評で、以前の図書館の1年間の入館者数を1か月で越えてしまうような状況です。今年の1月から図書館長として就任した元 NHK アナウンサーの青木裕子氏が、図書館の中で館長として読み聞かせ会のようなものを、毎日は無理ですが計画的に開いております。そのファンの方々がしなの鉄道の沿線にかなりいらっしゃるということで、しなの鉄道を利用して来てくれてきていると館長からは聞いています。新しく出来た建物なので、沿線の方々も一度でいいですから顔を出していただければと思います。

<議 長>

ありがとうございました。私も先日、その図書館に行ってみりました。大変素晴らしい図書館で、あの図書館ならではの蔵書もあります。先ほど朗読という話もありましたけれども大変な人気で、私がたまたま行った時も、その為にわざわざしなの鉄道に乗っていらっしゃる方もいるのです。建物だけではなく、それを利用した活動も注目を集めている施設だと思います。また青木館長は、沿線地域との連携によって何か出来ないかということを考えていらっしゃる方で、どういう仕掛けが出来るのか考えてみたいと思うのですが、沿線にも図書館はいっぱいあるわけで、実はこの建物も図書館なんですね。沿線の図書館のネットワークの中で何が出来るのか、場合によっては列車そのものを朗読の場として位置付けてもいいわけで、色々な仕掛けが出来ると思うのです。せっかくいい資産が中軽井沢駅に出来ましたから、何か考えてみたいと、そんなつもりでおります。

それから、先ほどの説明にありましたが、長野以北の開業は、路線名も北しなの線ということになりましたが、いよいよあと2年を切りまして、北しなの線を含めて利用促進が非常に大きな課題になるわけです。そういう中で、協議会としても以北を意識した取り組みというものをしていく必要があるだろうと思っております。沿線イベントの情報発信の中で、長野以北の自治体の観光スポット・イベント情報の紹介というものもやっていったらどうかと掲げておりますが、このようなことも含めてご意見ございますでしょうか。

ク 信濃町では、町の事業として元気づくり支援金を活用したマイレールを、昨年度に引き続き8月に実施を予定しているのですが、町としても利用促進を進めていきたいと思っておりますので、ぜひこの協議会でも、以北の関係を議論していただければ嬉しいと思っております。よろしくお願いいたします。

ケ 以北の関係につきまして、少しお話をさせていただきます。私どもは信濃町さんや飯綱町さんと一緒になって利用促進に取り組んでおります。具体的に、我々は地区が3つあるものですから、それぞれに利用促進の組織を作っていただいております。具体的な取り組みといたしましては、古里地区に三才駅という駅がございますが、3歳になるとそこで写真を撮って記念にする方が、結構広い範囲で見えになります。休日には非常に多くの方が見えになるということで、私どもとしては、一つの地区に10万円程度補助を出させていただき、見えになられた方に、記念にお渡しするグッズや、地域の方が対応される備品の関係の補助をさせていただいております。今後も引き続き、継続して事業をしたいという要望があるものですから、今年につきましても、3地区に補助をさせていただくつもりでございます。また、ハード的には調査が済んで市としても方針を出したのですが、三才～北長野間で新駅を作りたいということで、これから、しなの鉄道さんや関連するところとは話し合いをさせていただくつもりでございます。市の方針としては、出来るだけ早い時期に協議が成立したら、造っていきたくて考えております。しなの鉄道さんの長野以北の経営基本計画の中に利用促進という項目がありまして、そのところでは沿線の自治体やしなの鉄道さん、長野県さん、それから関係機関も一緒になって連携し利用促進を図るフレームになっているはずでございますので、そのようなことを踏まえて今後とも取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<議 長>

ありがとうございました。今年度事業計画、予算案については承認をいただいたということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

案のとおり一括して承認。

(平成25年度事業計画並びに予算 決定)

(6) 水戸岡鋭治氏講演会開催について
事務局から「資料6」を説明

(7) その他

ア ファンクラブ制度の見直しについて
事務局から、別添資料を説明。

イ しなの鉄道お客様感謝イベント(仮)の開催について

<事務局>

昨年10月に行いました開業15周年記念イベントが大変ご好評をいただきまして、地域の皆様にも多大なるご協力をいただいたところでございます。このようなイベントを5年サイクル、10年サイクルで行うにはもったいないということで、大規模なイベントではないにせよ毎年継続してやってまいりたい、地域の皆様と一緒にイベントをやっていきたいという意図で、今年につきましても開業月でございます10月を予定しておりますが、しなの鉄道お客様感謝イベントといったような形で実施をさせていただきたいと考えております。また、この件につきまして、関係機関の皆様にも企画の持ち込み、ご相談等をさせていただくかと思っておりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

その他といたしまして、2点お知らせでした。

<議長>

今後の予告ということでしたが、一つはファンクラブ制度を今後大胆に変えていきたいということ、もう一つは、開業記念月を中心とした感謝祭を10月に行いたいということです。

ファンクラブの関係については、参加型のものにしたいということで、現行のものはどちらかというと鉄道ファンを中心としたような組織となっております、会員は100名ちょっとですが、これを、真の意味でのファンクラブ或いはサポーターズクラブ的なものにしていきたいということで、会員を今の20倍、2000人程を目標にしていきたいと考えています。当社にとって今、一番足りない部分は、利用者の皆様との相互のコミュニケーションが意外と少ないということなのです。そういう意味でファンクラブというものを抜本的に改正いたしまして、利用者やお客様と私どもとの、相互のコミュニケーションのツールとして考えていったらどうかと思っております。これから具体的な検討をするのですが、会社の色々な取り組みというものを、会報という形で利用者の皆様にお知らせして、それに対する意見というものを求めたい。つまり、双方向のコミュニケーションをファンクラブを通じて行っていくとか、その他具体的に、会員になった方にメリットが得られるような取り組みというものを併せてやっていきたい。今のファンクラブというのはなかなかそういう部分がないのです。参加者にとってメリットがあり、尚且つ、会社と利用者の皆様とでコミュニケーションがとれるようなものを目指して、ファンクラブというものを作っていきたいと考えております。これから利用促進に向けて、大きな一つの切り札になりうる可能性があるもので、真剣に考えていきたいと思ひます。皆様方にもご意見があればまた伺いたいと思ひます。

感謝祭ということで、昨年は15周年祭を小諸で行ったのですが、利用していただいたお客様に感謝するという意味をこめて、これから毎年行っていききたいと思います。

この2点お知らせをいたしました。何かご意見などあればお願いします。

(質問・意見等なし)

どうもありがとうございました。時間となりましたので、以上で本日の協議会を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

5 閉 会

以 上